白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

2024～2025年度クラブ目標

『思いやりがある　感謝のロータリー』

ロータリーのマジック

2024－25年度国際ロータリーテーマ

会長　阿部克弘
幹事　十文字光伸

創立１９８６年

第1822回例会

令和６年９月19日（12：30～13：30）

○ソング
　●四つのテスト
○ビジター
　●ジロデ白河実行委員長　安田貴久様
　●　　事務局　緑川順子様
○スマイルBOX
　●**十文字光伸幹事**（本日はジロデ白河、実行委員長安田様、事務局緑川様、ご来訪ありがとうございました。大会の成功をご祈念致します。）
　●**藤田龍文会長エレクト**（本日はジロデシラカワ実行委員の皆様、おこしいただきありがとうございました）
　●**永野文雄会員**（ジロデ白河の安田様、緑川様ようこそ。ホームミーティング発表者の皆様ご苦労様でした。藤田龍文エレクト御苦労様です。）
　●**須藤正樹会員**（本日はジロデ白河実行委員の皆様、ようこそ。佐藤幸彦班長この間はホームミーティングおつかれさまでした。とても楽しかったです。）
　●**成井正之会員**（ジロデ白河の安田様、緑川様ようこそ。今週の大谷スマイルは9/18の48でした。）

【今週の仮メイクアップ会員】
　●９月２日　HM　2班
　　金田昇、松永紀男、安部和夫、大住由香里、島田修一、高畠裕、寺島由和、根本あゆみ、山田顕一郎
　●９月５日　HM　1班
　　金田昇、兼子聡、堀田一彦、青木大、齋藤愛、鈴木信教、鶴丸彰紀、沼田重一、山口治
　●９月５日　HM　5班
　　鈴木典雄、宮本多加夫、池田浩章、大竹憂子、十文字光伸、永野文雄
　●９月17日　HM
　　車田裕介、前原俊治、阿部克弘、櫻岡敏之、佐川京子、鈴木孝幸、富永章、増子国安

▶第1822回例会出席状況　（R６年９月１９日）

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	５２名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	１９名
Ⓣ 全正会員数	７１名
Ⓒ Ⓐの出席者数	２７名
Ⓓ Ⓐのメイクアップ者数	０名
Ⓔ Ⓑの出席者数	１０名
Ⓖ＝Ⓒ＋Ⓓ＋Ⓔ（メイクアップ補填後の出席会員数）	３７名
Ⓗ＝Ⓣ－（Ⓑ－Ⓔ）	６２
Ⓘ＝Ⓖ／Ⓗ×１００（例会出席率）	５９．６％

本日のプログラム

■会長の時間　　藤田龍文会長エレクト

皆さん、こんにちは。本日は阿部会長が職業奉仕ということで、会長エレクトの藤田のほうが代理で務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。まず初めに、本日のお客様のほう紹介したいと思います。もうこの顔を見ると、一年の秋だなという顔のお馴染みの方もいらっしゃいますが、まず実行委員長の安田様。もう秋の風物詩のようになりました緑川様です。後程ＰＲタイムのほうを設けておりますので、そちらのほうでよろしくお願いいたします。それでは、まず8月ですか、米沢中央ロータリーさんのほうにお伺いしまして、白河西ロータリーから皆さんからご寄付やタオルを集めた部分が、本日皆様のお手元にあるかと思いますが米沢中央さんの会報のほうに出ておりますので、そちらもご覧いただいて。あと、結いのきということで、赤い帯が付いているこちらのほうも皆さんの所に棚に入ってると思うんですが、こちらが寄付したものが震災を受けたグループのほうにお見舞金をお預けしたという報告が入っておりますので、そちらもご覧いただいて皆様のご寄付がいろいろな所で役に立ってるというのを見ていただければと思います。つい最近は白河市のほうでは大きい鹿島祭礼というお祭りが終わりまして、私もちょっと住んでいる場所の関係上参加してたんですが、西ロータリーの多くの皆さんも会場でお会いしたので、皆さんもちょっとお疲れの部分もあるかと思いますが、こういったその2年に一回の行事でしたが、やはりコロナの関係で6年間という間が空いてしまったので、いろいろな場所でいろいろな弊害が起きてたので、そういった部分は改めてなかなか途切れるということがなかった伝統行事ですので大変だなと思っております。西ロータリーでもやっておりますこのズーム、こちらもやはりコロナの成果と言うのもちょっと言葉の表現おかしいかもしれませんが、これがなければこういったズームやこういった部分もなかなかできなかったでしょうし、お祭りは3日間でしたがジロ・デ・シラカワ様もそうですが、11月3日のイベントは日にちは決まってますが、それを運営する方々というのはとてもそれよりも長い時間、以前から大変な苦労で準備をしているので、逆に運営側からするとその日が来るとなんとなくゴールのような、そんなやっとこの日が迎えられたというその安堵感を迎える感じもします。鹿島の祭礼もちょっと私も少しやってたもんですから、初日の13日で終わったような、やっとここまで来たというあと3日間はもうなんていうのかな、その余力で過ごしてしまうというような部分はすごく感じたので、イベントのご苦労の準備のご苦労というのは大変感じます。ロータリーに関しても段取り八分と皆さん仰っておりますので、来年40周年という節目の年になりますが、そろそろ40周年のギアを入れて、来年皆様にいろいろな形で40周年をご協力していただくという形になるかと思います。今の感じで行きますと、特別なことは記念式典や記念の懇親会、ゴルフコンペとそういった部分でやっていきたいと思っております。その他は、今まである既存の事業にそれぞれにボリュームを上げて肉厚を付けて事業を40周年記念ということで、少し肉厚でやっていきたいというふうに考えておりますので、是非ご協力お願いいたします。詳しいところは12月の定時総会等を迎えないとちょっと皆様にお知らせできないんですが、そういったイメージでやっていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。本日はホームミーティングの報告会ということですので、大変人数も多くて、昔は私が入った頃はホームミーティング5～6くらいでやれてたのが、割り振りで行くと1班8～9人ですか。大変多くの班で構成になったので、班長の皆様も会場や設営で大変ご苦労したかと思いますが、今日は前半の報告となりますのでいろいろお聞きして反映できるところは反映できればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

■幹事報告　　十文字光伸幹事

○米山記念奨学会事務局長　峯純子：ハイライトよねやま294
○日本事務局事務局長　中井啓介：「寄付送金明細書」ご提出方法についてのお願い
○ガバナー　早川敬介：第7期RLI修了証並びに卒業バッジの送付について
○県南分区補佐　佐藤演由：2024-25県南分区　早川敬介ガバナーご夫婦歓迎会
○白河ロータリークラブ会長　仁平賢司・幹事　鑓水秀樹：年次計画書・報告書の送付について
○米沢中央ロータリークラブ会長　吉澤彰浩・幹事　遠藤優子：「白河西RC交流女子会“芋煮会＆BBQ”」のご案内

■本日のお客様

○白河商工会議所青年部会長　　安田貴久様

皆さん、こんにちは。白河商工会議所青年部、会長兼ジロ・デ・シラカワ実行委員長を務めさせていただいております安田貴久です。改めまして、どうぞよろしくお願いいたします。先程ですね、秋の風物詩というふうに言っていただいたところではございますが、今年もですね11月3日、日曜日になります。ジロ・デ・シラカワが開催されます。白河西ロータリーの皆様におかれましては、このジロ・デ・シラカワの開催の度に多大なるご支援ご協力をいただいております。そしてですね、今年も是非ですね、引き続きそのご支援ご協力をいただけませんかということでお願いに参った次第でございます。どうぞよろしくお願いいたします。またですね、今回ジロ・デ・シラカワ11回目ですね、開催にな

ります。このジロ・デ・シラカワをですね、より発展、そしてよく地域に根付いたイベントにしていきたいと思います。そのためにはですね、こういった今回今までいただいたようなご支援ご協力の他にですね、どうしても参加者というものを増やしていって、ただの自転車愛好家によるイベントではなく、本当地域の為になるイベントに発展させていかなきゃいけないというふうに思っております。ですので、本日いらっしゃいます皆様ですね、是非上級者じゃなくても出れるレースもありますし、お子さん、お孫さん、小さい方でも出れるレースもありますので、皆さんの参加ももちろん、お子さんやお友達など声かけていただいてですね、是非こちら参加のほうもご協力いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

■各委員会報告

○シスター委員会　村上堅二委員長

皆さん、こんにちは。シスター委員会の村上でございます。よろしくお願いいたします。10月1日にですね、火曜日なんですけども、米沢との交流会があります。ゴルフのほうはやられることだったので、あとゴルフやられない方々、交流会ということで午後2時から「ブリティッシュヒルズ」のほうで行いますので、お手すきの方は是非ご参加いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。連絡はシスター委員会のほうに連絡いただければと思います。よろしくお願いいたします。以上になります。

■本日のプログラム

○ホームミーティング報告会

第1班　堀田一彦会員

皆さん、こんにちは。それでは、第1班のホームミーティングの報告を行います。参加者は班長の兼子聡会員、書記の堀田、山口治会員、沼田重一会員、鈴木信教会員、鶴丸彰紀会員、青木大会員、齋藤愛会員の8名で、場所は青木会員の「楓」で9月5日の18時30分から行いました。片倉先生は残念ながら欠席でしたが、金田昇ガバナーノミニーには体調が悪い中ご挨拶をいただき、寸志も頂戴いたしました。ありがとうございます。二次会のほうでありがたく使わせていただきました。それでは、テーマ1の「例会の参加率を上げるにはどうすればよいでしょうか」ということなんですが、まず、例会の参加率が上がって当日5日の例会のように毎回50人オーバーでは予算自体が足りなくなってしまうのではないかという意見がまずそれが出まして。では、それに対して年会費を上げるという意見や、例会の回数を減らすという意見や、例会に参加したら強制的にスマイルするという意見がありましたが、年会費を上げるということや、強制的にスマイルというのはかなり難しい問題なので、まずはその辺アンケートを取ってみてはということで落ち着きました。また、例会数を減らすということに対しては、忙しい会員の参加のチャンスを奪うことになってしまうということで、それはちょっと止めたほうがいいんじゃないかという結論に至りました。続いて、他クラブの例会やホームミーティング、愛好会などに参加すればメーキャップは一年間有効なので、出席率は上がるんですが例会の参加率を上げるにはやっぱり食事を良くするしかないだろうという意見が多く出ました。それに対して、ブッフェスタイルも復活もありだし、もう少しメリハリをつけてほしいという意見。それから、青木会員もいましたので、会場を変えるというのも一つかな。ただ、そちら今の料金1,850円では全然できないという話なので、ちょっとその辺はおいおい理事の方も含めて打ち合わせしていただければなと。ちなみに、10月31日のＪＣ・ＹＥＧ交流コンペではシン鹿島のほうで表彰式、例会を行います。それから、その他にが今日の白岩君のように責任のある役職を任せて例会に参加してもらうと。今日も2回連続ですもんね。ということで、ロータリーに対する優先順位をそういうことで上げてもらったらいいんじゃないかという意見がありました。続いて、「ホームミーティングの回数、内容、やり方について」というところでは、2回から4回の間で回数を増やすのもありで、これは例会の参加率アップにも繋がるのではという意見や、今現在8班なんですがそれを10班くらいに増やして1班当たりの人数を減らさないと、大人数では日程の調整も難しいですし班長のほうも大変ですし、9人8人ではちょっとテーブルも長くて会話が二つに分かれてしまうという部分もありますので、その辺は今後親睦委員会のほうには考えていただきたいなというふうに思います。また、ホームミーティングの結果を吸い上げて検討し活用する場が必要だろうという意見も出ました。この辺で、僕のほうのお酒が進みまして、この先ちょっとなんて書いてあるかわかんないくらいメモ具合になってしまったので、この他にもいろいろあったんですが、最後は信教会員のスジャータの話で盛り上がったというのは覚えております。以上で、1班の報告です。

第2班　松永紀男会員

皆さん、こんにちは。2班の報告をさせていただきます。お手元に冊子というのを作ってきております。これ通常だと作る必要がないような気もしたんですが、今回ホームミーティングの中でアンケートを取りまして、そのアンケートの集計をきちんと報告入れるようにという指示があるところから出ておりましたので、それを

踏まえて後程ちょっとこれ見ていただきながら説明したいかなと思っております。参加の面々は、そちらのほうに記入されてますとおりです。班員、メンバーはもちろんなんですけど、入会予定者さんでありますとか、あとゲストとしてチェロの奏者の金田班長のチェロの師匠と呼ばれる遠藤さんも来られて、全体的にはなんかホームミーティングではないような雰囲気で当初会が進んでいったような、そんな雰囲気でありました。総勢18名でやらせていただいて、18時半から、若干ちょっと時間が遅れたんですけど、「ｔ＆ｔ」のほうでやらせていただきました。大体の流れとしましては、冒頭にて金田班長よりいわゆるロータリーにおける親睦。それから、例会とホームミーティングについてのレクチャーが少しいただきました。そして、資料も金田さんが準備いただいて、簡単にこの辺のレクチャーを受けた上で申し上げましたように、ちょっと例会だとかホームミーティングに関するアンケートというのを実施していただいて、各自そのアンケートを書く中で課題と、自分の考えを明確にしていただいて討議に入るような、そういう形になりました。冒頭遠藤先生のチェロの演奏がありまして、美しい楽曲が流れる中、ご婦人も何名か来られておりましたので、終始和やかな感じで進行してまいりました。2枚目にはその時の写真も添付させていただいております。私、今回ホームミーティング、沼田委員長よりお電話いただいて班長をやれと言われていたんですね。班長をやれと言われていたので、今までホームミーティング参加した中でやっぱり思い出深かったのが、十年以上前なんですけども金田会長のご自宅でやらせていただいた、参加させていただいたホームミーティング。ご自宅のガレージで実施したホームミーティングだったんだけどすごく印象深くて、10年以上前で私入会して間もない頃だったかと思うんですけど、すごく楽しかった印象があって、たまたまその時の写真が今回私が班長ということになったので、いろいろ探したらその時の写真が出てきましたので一番後ろに添付させていただきました。なかなか1台200万も300万もするようなバイクの真横で、七輪でサンマ焼いたりだとか、普段ちょっとホームパーティーというのは、セレブのホームパーティーっていうのはこういうものなのかなということを当時感じたのを鮮明に覚えてまして。今回、金田さんが蓋開けてみたら班長ということだったので、是非ご自宅でやらせてほしいということを話をしたんですけども、あっさりお断りされて。ヴァイオリンの「ｔ＆ｔ」でやるということだったので、おそらく金田さんがチェロをやってられるので、金田さんご自身が多分そういうのを弾かれるんだろうなと。そういう事だったので、私も息子がそういうこういう弦楽器みたいなのをやってますから、家内と息子も誘って、多分金田さんよりうちの息子のほうが上手いだろうと思って挑んだんですけども、本格的な方が出てこられたので。出てこられた方が遠藤さんと言って、うちの息子の中学校の技術指導をやっていただいてる先生だったということになって。割とホームミーティングなんていうのをやりますと、割と家庭だとか知縁の繋がりがそういうふうに出てきて、家族の理解も得られやすいのかななんてことをちょっと感じた次第であります。アンケートを次のページちょっと見ていただきたいんですけど、どういう意図でこういうアンケートをどうのこうのはちょっとわからないんですけども。これは母数の問題があって、多分この数字を見ていると何パーセントという数字見てると100人以上の集計じゃないなっていうのがわかるので、この数字見るとこの母数何人なのかなというのは多分わかられると思うんですけど。ただ、これをざっくり5倍の人数でアンケート取ったとしても、おそらく同じような回答になるのかなと思っていて。ただ、ざっくばらんな形でアンケート取りましょうということでこういうふうにデータとして出しましたので、割と正直な気持ちがそのまま出ているのかなという気がしております。ただ、これについて内容どうのこうのとか、それは今後いろいろ例会出席に関してだとか、ホームミーティングの運営だとかに関しての何か材料にすることができればいいのかなとは思っています。あと、少人数でのこういうホームミーティングというのはすごく楽しい会になることが多いので、やはり例会の後に飲み会をしたりだとか、逆にホームミーティングという決め事じゃなくても、例えばそういった小集団で何かちょっとどこか行ったりとか、家族誘ってどこか行くとか、そういう事は必要なのかなというか、みんな楽しい思いができるのかなという意見が出ておりました。あと、それとちょっとテクニカルな部分になっちゃうんですけど、せっかくウェブでやってるわけだから、見逃し配信やってもらえれば嬉しいよねというような我儘な意見も出ておりました。ただ、見逃し配信やるっていうことが参加率上げることに繋がるのかどうかというと、またこれ一つ課題としては出てくると思うので。全体的な意見としては、そういう技術的なものにこれからは頼るのではなくて、もう少しヒューマンレベルというか、個別の接触でもって小集団活動みたいな形でホームミーティングを実行できればいいのではないかというところで落ち着きました。全体として、なんか今回の会は、ホームミーティングであってなんかホームミーティングじゃないような会にはなってしまったんですけど。ただちょっと会が進んでいく中で、班員とそれ以外のオブザーバーの方とちょっと場所を分けて、班員のほうは班員のほうで個別に検討させていただきましたので、その部分だけ申し添えさせていただきます。

第3班　　**前原俊治会員**

第3班のホームミーティングの報告をさせていただきます。日にちは、9月17日。シン鹿島でやりました。おとといは、「赤門」それでですね、参加した方は班長は車田班長。書記が私で

す。その他に阿部会長、櫻岡会員、佐川会員、鈴木孝幸会員、富永会員、増子会員の一応8名でした。そのうち、櫻岡さんはちょっと用事があるということで、実際は7名でホームミーティングを行いました。私が書記ということでいろいろメモを取んなきゃいけないかなと思ったんですが、車田班長のほうから私も年取ってるし、班長がメモを取るかという話がありまして、私も快くその要求を受けまして、今日のミーティングは班長のメモを主に話していきたいと思っております。6時半から始まりましてとりあえず乾杯ということで、その後ですねテーマに沿って話し合いが行われました。一つ目のテーマ、「例会の参加率を上げるにはどうすればよいか」という話で、阿部会長のほうから次々年度ですか、その時には西ロータリーからガバナーを輩出するということで、会員数を100名くらいに増やしたいというお話がありました。ただやっぱり、人数が増えると出席率のほうはどうしても下がるんじゃないかなということで、ちょっと心配があるんじゃないかということでお話がありました。出席率をひとつ上げる方法として、今年阿部会長のほうでもやってるみたいなんですが、あまりに出席しない方に対して、誕生日プレゼントとか、そこにありますレターボックスの資料なんかを、直接お渡ししてその方といろいろ話したりすることによって、出席率が上がるのもひとつの手じゃないかなというお話がありました。最近は入会する時にとりあえず入会申し込み書けという話で入会する方が結構多くて、昔は結構入る時に例会というのは一番重要なものなので出来るだけ例会に参加するようにというお話があったんですが、最近はあまりそういうお話がないようなので、その入会を誘う時一応入会予定者にでロータリーにおいて出席することが非常に重要だというそういう話をしたほうがいいんじゃないかという話もありました。私が入った頃は、出席率60パーセントか70パーセントかわかりませんけど、それを出ないと退会になるというようなこともありましたのでね、その辺をもう一度できるだけ、忙しい方も多いでしょうけど、入る時に例会に出るように話したほうがいいんじゃないかという話がありました。あと、一人の方は非常に個人としては例会に出たいんだけど、仕事が非常に忙しいと。それで、仕事が大体一か月くらいまで予定が詰まって、本当は出たいんだけどなかなか出られないというお話もありました。そういうことで、なかなか我々みたいな結構時間がある人は例会に出られるんでしょうけど、忙しい若い方は仕事があってなかなか出られないんでしょうけど、できるだけ時間使って例会に出るようにしていただければというふうに思っております。あと二番目のテーマですね。「ホームミーティングの回数、内容、やり方について」というテーマですね。ホームミーティングですね、普段例会に出ないような方でホームミーティングには必ず出るという方もいらっしゃるみたいなので、ホームミーティング、今、年2回ですけど、これを増やしたほうがいいんじゃないかという意見の方がいらっしゃいました。毎月くらいでもいいんじゃないか。ちょっと毎月だと無理なので、年4回とか6回くらいホームミーティングやって、その親睦を図ったほうがいいんじゃないかという話がありました。逆に、今、年2回やっておりますが大体そのぐらいでいいんじゃないかなという話もありました、なかなかそのホームミーティング準備も大変ですし、年中やるとマンネリ化しちゃうんじゃないかということで、2回くらいがいいんじゃないかという話もありました。あとホームミーティングの開催に関して、先程もお話ありましたけども、昔は結構各家庭でやってる方が多かったんですが、今いろいろ家庭の事情でほとんど飲食店を利用してるわけですね。それで大体会費として3千円か4千円位ということでやってるわけですが、どうしても予算的にそれでは足りないということで、その分を大体班長さんが負担するということで、班長の負担が非常に多いので、最近はそういう形でやられてるみたいなんですけど、会費制で皆さん同じ金額でその辺の班長さんの負担を少なくするような形でやったほうがいいんじゃないかという話がありました。あとですね、その開催場所についても、飲食店を利用する場合。基本的にはやっぱり会員の方の施設を利用してやるということでやっておるんですが、なかなかいつも同じ所ではなく、な別のそういう施設で飲食店でですね、やるような形でもいいんじゃないかなという話がありました。その後、いろいろ雑談になったんですが、そういうこういうホームミーティングの場というのは、なかなか普段あまり話せない方ともいろいろ話し合って、そういった意味では非常に良いものじゃないかなということであります。ホームミーティングですね、やってそういう普段ですね、あまり話せない方といろいろ仕事の事とかですね、あと人間関係っていうんですか、そういった事を、いろいろ知ることによってその方々の事をよく知られるということ、ホームミーティングが、一番のメリットはそういう事ではないかなというふうに私は思っております。

第5班　　**大竹憂子会員**

5班のほうの発表なんですけども、班長が鈴木典雄会員、書記が宮本多可夫会員でしたが。宮本先生が「俺、発表するのやだから、はい、大竹ちゃん、よろしくね。」って言って、メモした用紙だけをいただいたので、それをざっくりまとめさせていただいて私が報告することになりまして。5班は9月5日の木曜日、6時半から「赤門」のほうで行いました。参加者は6名で、欠席者が3名ということで、この6名のメンバーも私もこれ初めての経験だったんですけど、飲む方がたった一人宮本先生だけで、あとどなたも飲まなかったというなんかちょっと稀にみるなんとなく寂しい感じのホームミーティングになったような気がします。飲んでないということもあったので、終わりも若干早かったというのはあり

ました。テーマ1のほうの「例会の参加率を上げるには」ということで、これはまずはいろんな意見が出たんですけども、まずは一つとして卓話で魅力的な方を呼ぶ。これもひとつ大事なのではないかと。やはりこの方が来るとなると、それをどうしても話を聞きたいとか、会ってみたいとか、そういったことでこの人が来るんだったらじゃ今日は行かなきゃというふうな判断もあって参加する方もいるというのもあるので、卓話の魅力的な方を呼ぶというのが一つありました。あと、沢山の会員が役職に就く。役職に就くことでどうしてもやはり参加する率は高くなるのではないかという話が出ました。そのためには、年度初めや事業計画を立てるその時に委員会を必ず開く。これも大事な事じゃないかと。委員会を開くことでやはりその委員会の役割を持つとか、そういった事に繋がるのではないかという話があったり、また会長や委員長のちょっとした努力、これは大事ではないかと。というのは、阿部会長がなんか今、誕生日のお祝いを会長がお届けになってるということがあって、届けた後にお誕生日いただきました、ありがとうございますということで、参加してそしてスマイルしているというのがここ2か月くらいあったというのがありますので、そういったふうに会長はじめ委員長などがちょっとこうお声かけしたりとかすることも大事ではないかという話が出ました。3年未満もしくは5年未満の会員はそういった委員会とか行事、またできれば年次大会なんかも参加するというふうに、ある程度強制的に伝えるのも大事ではないかと。また、西ロータリーとしてそういった事をルール付けするというのも一つではないかという話が出ました。実際にそういう行事だったり、大会とかに参加したことがなかったりすると、なかなかそれって何で終わってしまうことが多いので、そういったとこで学んだりすることで、やはり参加するという気持ちが芽生えるのはないかという話と、あと先程ちょっとその年度初めや事業計画という話とちょっと似てるんですけど、各委員会でちゃんと役割分担したり、担当を割り振ったりすることも、参加率に繋がるんではないかという話が出ました。また、情報委員会や紹介者の方が新入会員にちゃんといろんな事を説明してあげる。これが一番大事だという話が最後に出ました。テーマ2の「ホームミーティングの回数、内容、やり方について」ということですが、一部の方は現在のまま2回くらいでいいんじゃないという話もありながら、いやホームミーティングだから参加するという方も結構いるので回数を増やしたほうがいいんじゃないかという話と、あと西ロータリーの誇れる事業なので、年3回は少なくてもやるべきじゃないかという話が出ました。それぞれの意見が出たので、これはちょっとまとめにくいというのもありますが、どちらかというと3回以上で1回でも2回でも回数を増やすほうがいいんじゃないかと。これは例会の時とまた違うそのホームミーティングの良さがあるので、また新入会員なんかだと特に参加しやすい事業ではないかという話が一番多く出ました。それとこの報告会ですね。これを2例会やるのがもったいない。1例会で済ますべきだという、これは結構意見が出まして。やっぱり1回の例会でホームミーティングの報告会を終わらせることが、そうすると1回結局どなたかを呼ぶとかいろんな事できるから、1回にするほうがいいんじゃないかなという話が出ました。ホームミーティングの班長、書記についてなんですけど、書記は新入会員の方でもいいかなという話もありましたけど、ホームミーティングの班長さんについてはやっぱり5年未満の方に振るのはどうかという話が出ました。実際、やっぱり5年というより3年未満なんかですと、特に何をどうしていいのかわからないというのが本当であって、書記なんかだと書きとめたりいろいろしてるうちに、またいろんなそうやってホームミーティングに参加してるうちに、いろんなふうに覚えていくかなというのもあるので、やはり5年以上の方が班長をやるべきではないかというお話がありました。5班は以上のようなことで、あとは「その他」の感じでいろんな意見は出ましたが、最終的に「その他」でいろいろ出てきたのが、すべて参加率上げるのもホームミーティングの回数を増やしたりするのも、すべて会員増強にも繋がるんじゃないのっていう話が出たので、やっぱりそういうのを大事にしていきながら、これから会員になるかもしれないという方も参加できるような体制というのも大事なのかなという話が最後出たというので、5班の報告を終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

【第3回理事会】
令和6年9月12日㈭　午後19時30分（例会終了後）

審議事項

⑴１新入会員承認の件（近藤勝人様・十文字俊之様）
例会に２回以上出席していない為持ち越し

⑵２佐藤清作会員退会の件
会社としては継続（ご子息の佐藤弘様と入れ替え）
全員一致で承認

⑶３視察研修旅行　米山梅吉奨学記念館　10月22日㈫～10月23日㈬
全員一致で承認

その他

10月31日㈭第1828回例会JC・YEG交流会は移動例会でシン鹿島にて開催することに全員一致で承認